施策評価シート

施策等名称	活動の場ごとの施策の推進	体系番号	0201020202
		主管課	生涯学習課

1 施策基本情報

現状と課題	第1次、第2次計画では、発達段階に応じた働き掛け、様々な機会の充実を目指してきました。 多様化する時代の中で、子どもを取り巻く生活環境は変化していることから、家庭、保育園、学校、地域、図書館等関係機関が一体となって子どもの読書活動を推進する必要がある。
めざす将来像（あるべき姿、基本的な考え方）	家庭、保育園、幼稚園、認定こども園、学校、地域、図書館といった読書活動をする場所の役割にあった子どもの読書活動が効果的に継続して実施されている。

施策指標

	指標名称	指標の説明（単位）	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値
①	朝読書時間についての興味関心	興味関心のある児童生徒数/対象児童生徒数（%）	小学校 91.0 中学校 86.0	小学校 95.0
②	調べ学習コンクールの作品応募率	作品応募児童生徒数/対象児童生徒数（%）	小学校 28.0 中学校 10.0 高等学校 0.5	小学校30.0、中学校15.0、高等学校 0.5
③				

施策の体系

施策の柱1

名称	家庭における読書活動の推進	主管課	生涯学習課
詳細	家庭は子どもの生活基盤となる場であり、家庭での読書体験は、本好きな子どもを育てるとともに、温かな家庭づくりや望ましい人間関係づくりの源泉となる。		

	まちづくりの目標指標	指標の説明（単位）	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値
1	幼児期の語りかけ、読み聞かせの実施	保育園・幼稚園・認定こども園での評価（5段階評価）	未実施	3.50
2	家での読み聞かせ、家庭での読書の時間	保育園・幼稚園・認定こども園での評価（5段階評価）	未実施	3.50
3				

	柱を構成する主要事務事業	区分
1	読り一むinちの活動支援事業	実施
2	こども読書活動応援センター事業	実施
3		
4		
5		
6		

基本政策間連携

施策の柱2

名称	地域における読書活動の推進	主管課	生涯学習課
詳細	読り一むinちのや読書ボランティアと連携し、全ての子どもが将来にわたって豊かな読書活動ができるよう、地域における読書活動を推進する。		

	まちづくりの目標指標	指標の説明（単位）	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値
1	ファーストブック・セカンドブックプレゼントの実施	こども読書活動応援センターにおける評価（5段階評価）	実施	3.50
2	保育園、幼稚園、認定こども園の「朝の絵本の時間」の見学会の参加	こども読書活動応援センターにおける評価（5段階評価）	未実施	3.50
3	読書活動啓発と情報提供	広報誌の発行回数（回）	3.00	3.00

	柱を構成する主要事務事業	区分
1	読り一むinちの活動支援事業	実施
2	こども読書活動応援センター事業	実施
3		
4		
5		
6		

基本政策間連携

施策の柱3

名称	保育園、幼稚園、認定こども園における読書活動の推進	主管課	生涯学習課
詳細	幼児期の子どもが読書活動の楽しさに出会うことができるよう、日常的な絵本の読み聞かせや絵本に親しむ環境づくりを行う。		

	まちづくりの目標指標	指標の説明（単位）	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値
1	保育園、幼稚園、認定こども園の「朝の絵本の時間」の継続と見学	保育園・幼稚園・認定こども園における評価（5段階評価）	未実施	3.50
2				
3				

	柱を構成する主要事務事業	区分
1	読り一むinちの活動支援事業	実施
2	こども読書活動応援センター事業	実施
3		
4		
5		
6		

基本政策間連携

施策評価シート

施策等名称	活動の場ごとの施策の推進	体系番号	0201020202
		主管課	生涯学習課

※施策の柱が4つ以上ある場合は下記へ記載

施策の体系

施策の柱4

名称	小学校における読書活動の推進	主管課	生涯学習課
詳細	発達段階に合わせた読書活動の取組を実践し、より一層本に興味や関心を持つように読書生活を広げ深めるよう、朝読書、調べ学習、授業での図書館活動、家庭読書を推進する。		

	まちづくりの目標指標	指標の説明（単位）	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値
1	セカンドブックプレゼントの実施	小学校における評価（5段階評価）	実施	3.50
2	「朝読書」の継続と参観の実施	小学校における評価（5段階評価）	実施	3.50
3	調べ学習コンクールへの参加	小学校における評価（5段階評価）	実施	3.50

	柱を構成する主要事務事業	区分
1	読り一むinちの活動支援事業	実施
2	こども読書活動応援センター事業	実施
3		
4		
5		
6		

基本政策間連携

施策の柱5

名称	中学校における読書活動の推進	主管課	生涯学習課
詳細	毎朝の読書を継続し、読書習慣の定着を図り読書生活を広げるよう支援する。読書参観日、調べ学習、家庭読書を実施することで、家庭や地域と一体になった読書活動を推進する。		

	まちづくりの目標指標	指標の説明（単位）	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値
1	「朝読書」の継続と参観の実施	中学校における評価（5段階評価）	実施	3.50
2	調べ学習コンクールへの参加	中学校における評価（5段階評価）	実施	3.50
3				

	柱を構成する主要事務事業	区分
1	読り一むinちの活動支援事業	実施
2	こども読書活動応援センター事業	実施
3		
4		
5		
6		

基本政策間連携

施策の柱6

名称	高等学校における読書活動の推進	主管課	生涯学習課
詳細	毎朝の読書を継続しながら、豊かな感性、想像力、論理的・抽象的な思考などを育むよう、適書への出会いを大切にする。読書活動が話題になるような働きがけを積極的に行う。		

	まちづくりの目標指標	指標の説明（単位）	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値
1	「朝読書」の継続と参観の実施	高校における評価（5段階評価）	実施	3.50
2	読書活動をする時間と機会の確保及び読書活動の情報提供	高校における評価（5段階評価）	実施	3.50
3				

	柱を構成する主要事務事業	区分
1	読り一むinちの活動支援事業	実施
2	こども読書活動応援センター事業	実施
3		
4		
5		
6		

基本政策間連携

施策の柱7

名称	図書館における読書活動の推進	主管課	生涯学習課
詳細	読書の森 読り一むinちの、図書館読書ボランティア等との連携を図りながら、子どもに本や図書館に親しんでもらえるような環境づくりを推進する。また、読書活動グループ等が活動できる機会や場の提供、職員の研修の充実を図る。		

	まちづくりの目標指標	指標の説明（単位）	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値
1	読み聞かせ講座、絵本講座紙芝居講座、パネルシアター講座の開催	図書館における評価（5段階評価）	未実施	3.50
2	特別おはなし会の企画の充実	図書館における評価（5段階評価）	実施	3.50
3				

	柱を構成する主要事務事業	区分
1	読り一むinちの活動支援事業	実施
2	こども読書活動応援センター事業	実施
3		
4		
5		
6		

基本政策間連携

施策評価シート

施策等名称	活動の場ごとの施策の推進	体系番号	0201020202
		主管課	生涯学習課

※施策の柱が8つ以上ある場合は下記へ記載

施策の体系

施策の柱8

名称	こども読書活動応援センターにおける読書活動の推進	主管課	生涯学習課
詳細	「読書の森 読り一むinちの」などと連携しながら、保育園、幼稚園、認定こども園、学校、地域などでの子どものための読書活動の応援をする。		

	まちづくりの目標指標	指標の説明（単位）	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値
1	調べ学習コンクールの実施	こども読書活動応援センターにおける評価（5段階評価）	実施	3.50
2	学校図書館の運営・研修に係る支援・相談	こども読書活動応援センターにおける評価（5段階評価）	実施	3.50
3	読書ボランティアの応援及び交流会の実施	こども読書活動応援センターにおける評価（5段階評価）	実施	3.50

	柱を構成する主要事務事業	区分
1	読り一むinちの活動支援事業	実施
2	こども読書活動応援センター事業	実施
3		
4		
5		
6		

基本政策間連携

施策の柱9

名称	その他の関係機関における読書活動の推進	主管課	生涯学習課
詳細	読書活動に関する課、健康福祉・教育・環境関係等の施設、読書活動団体等が連携し、子どもの読書活動を推進する。		

	まちづくりの目標指標	指標の説明（単位）	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値
1	司書教諭・学校司書などの研修の充実	学校教育課における評価（5段階評価）	実施	3.50
2	読書教育研究指定校の研究、読書教育研修会、中学校区における読書研修会の推進	生涯学習課における評価（5段階評価）	実施	3.50
3				

	柱を構成する主要事務事業	区分
1	読り一むinちの活動支援事業	実施
2	こども読書活動応援センター事業	実施
3		
4		
5		
6		

基本政策間連携

施策の柱10

名称		主管課	
詳細			

	まちづくりの目標指標	指標の説明（単位）	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値
1				
2				
3				

	柱を構成する主要事務事業	区分
1		
2		
3		
4		
5		
6		

基本政策間連携

施策の柱11

名称		主管課	
詳細			

	まちづくりの目標指標	指標の説明（単位）	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値
1				
2				
3				

	柱を構成する主要事務事業	区分
1		
2		
3		
4		
5		
6		

基本政策間連携

施策等名称	活動の場ごとの施策の推進	体系番号	0201020202
		主管課	生涯学習課

2 指標等の推移と変動要因

体系区分	成果指標名	計画策定時	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
指標No.		中間目標値	実績値 ／ 達成率(実績値÷目標値)					
施策 1	朝読書時間についての興味関心	小学校 91.0 中学校 86.0	小学校91.0 中学校86.0	小学校90.5 中学校84.8	小学校90.5 中学校84.8	小学校90.5 中学校84.8	小学校90.0 中学校84.0	小学校90.0 中学校84.0

変動要因等	
2018年度	読書教育に関する調査は3年に一度で実施。2016年度に実施している。
2019年度	読書教育に関する調査は2019年度に実施.。前回調査とほぼ同様の結果。
2020年度	2019年度の実施結果。
2021年度	2019年度の実施結果。
2022年度	読書教育に関するアンケートを2022年度10月に実施。
2023年度	2022年度の実施結果。

施策 2	調べ学習コンクールの作品応募率	小学校 28.4 中学校 9.5 高等学校 0.5	小学校28.9 中学校 6.6	小学校34.4 中学校17.4	小学校21.4 中学校19.8	小学校 38.7 中学校 12.1	小学校34.0 中学校18.8	小学校35.0 中学校25.0

変動要因等	
2018年度	前年並みの応募数があり定着している。
2019年度	小・中学校ともに前年より応募数が増加している。
2020年度	コロナの影響で小学校は前年度より減っているが、中学校では積極的な働きかけにより増えている。
2021年度	学校により取組に差があり、中学校では減少したが、小学校では増加した。
2022年度	中学校の応募数が大きく増加し、市内全児童生徒の約3割が調べ学習に取り組んだ。
2023年度	中学校の応募数が大きく増加し、市内全児童生徒の3割以上が調べ学習に取り組んだ。

柱1 1	幼児期の語りかけ、読み聞かせの実施(読書推進計画における5段階評価)	未実施	4.00	4.00	4.00	3.00	3.00	3.50
		4.00	100.00	100.00	100.00	75.00	75.00	87.50

変動要因等	
2018年度	各施設における、子育て講座、おはなし会の実施は定着している。
2019年度	各施設における、子育て講座、おはなし会の実施は定着している。
2020年度	コロナの影響により、子育て講座は中止、おはなし会は人数制限を設けて実施。
2021年度	コロナの影響により、子育て講座は中止、おはなし会は人数制限を設けて実施。
2022年度	新型コロナウイルス感染症の影響により、一部講座を中止した。おはなし会は人数制限を設けて実施した。
2023年度	各施設における、子育て講座、おはなし会を再開することができた。

柱1 2	家での読み聞かせ、家庭での読書の時間(読書推進計画における5段階評価)	未実施	3.20	3.30	3.00	3.30	3.50	3.50
		3.50	91.43	94.29	85.71	94.29	100.00	100.00

変動要因等	
2018年度	ファーストブック・セカンドブックプレゼントや各施設における読書活動が家庭での読書活動に良い影響を及ぼしている。
2019年度	ファーストブック・セカンドブックプレゼントや各施設における読書活動が家庭での読書活動に良い影響を及ぼしている。
2020年度	コロナの影響で各施設(読書活動推進機関)による読書活動が実施できず、啓発の機会が減った。
2021年度	感染症対策施しながら実施することで、意識が高まった。
2022年度	感染症対策施しながら手渡しを実施した。家庭での読書活動への意識向上に繋がっている。
2023年度	感染症対策施しながら手渡しを実施した。家庭での読書活動への意識向上に繋がっている。

柱2 1	ファーストブック・セカンドブックプレゼントの実施(読書推進計画における5段階評価)	未実施	3.50	3.00	3.00	3.00	3.50	4.00
		3.50	100.00	85.71	85.71	85.71	100.00	114.29

変動要因等	
2018年度	計画通り実施した。
2019年度	計画通り実施したが、プレゼンターの参加数減少。
2020年度	計画通り実施できたが、コロナの影響によりプレゼンターは、読り一む会員と事務局に限定して対応した。
2021年度	計画通り実施できたが、コロナの影響によりプレゼンターは、読り一む会員と事務局に限定して対応した。
2022年度	感染予防対策に配慮した会場の設定を工夫し、本の手渡しを実施した。感染対策の都合により、セカンドブックで親子読みを実施した学校は5校。
2023年度	各校での手渡し会、親子読みが温かい雰囲気のなかで実施することができた。また、年度末の来入児保護者会で説明の時間をいただき、保護者の理解を進めることができた。

柱2 2	保育園、幼稚園、認定こども園の「朝の絵本の時間」の見学会の参加(読書推進計画における5段階評価)	未実施	3.30	4.00	3.00	3.00	4.00	4.00
		3.50	94.29	114.29	85.71	85.71	114.29	114.29

変動要因等	
2018年度	各保育園で、計画通り実施できた。
2019年度	各保育園で、計画通り実施できた。
2020年度	コロナ禍により、5園のみで実施。
2021年度	コロナ禍により、6園のみで実施。
2022年度	読り一む in ちのによる「朝の絵本の時間」見学会は、コロナ感染予防に配慮して実施しなかったが、こども読書活動応援センターにより、7園の参観、懇談を実施した。
2023年度	読り一む in ちのによる「朝の絵本の時間」見学会を6園実施した。

施策等名称	活動の場ごとの施策の推進	体系番号	0201020202
		所管課	生涯学習課

No.	成果指標名	計画策定時	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
		中間目標値	実績値 ／ 達成率（実績値÷目標値）					
柱2	読書活動啓発と情報提供（読書推進計画における5段階評価）	未実施	3.30	4.00	3.00	3.00	3.50	3.50
3		3.50	94.29	114.29	85.71	85.71	100.00	100.00

変動要因等		
	2018年度	計画通り読書週間の取組や広報紙の発行ができた。
	2019年度	計画通り読書週間の取組や広報紙の発行ができた。
	2020年度	コロナ禍により、読書週間の取組や広報紙の発行も縮小となった。
	2021年度	コロナ禍により、読書週間の取組や広報紙の発行も縮小となった。
	2022年度	市のホームページを活用して学校での取り組みの様子を紹介したり、園や学校を訪問した際の記録を全園・校で共有したりした。
	2023年度	市のホームページを活用して学校での取り組みの様子を紹介したり、園や学校を訪問した際の記録を全園・校で共有したりした。

柱3	保育園、幼稚園、認定こども園の「朝の絵本の時間」の継続と見学会の実施（読書推進計画における5段階評価）	未実施	3.70	4.00	3.00	3.00	4.00	4.00
1		4.00	92.50	100.00	75.00	75.00	100.00	100.00

変動要因等		
	2018年度	各保育園で、計画通り実施できた。
	2019年度	各保育園で、計画通り実施できた。
	2020年度	コロナ禍により、5園のみで実施。
	2021年度	コロナ禍により、6園のみで実施。
	2022年度	読り一む in ちのによる「朝の絵本の時間」見学会は、コロナ感染予防に配慮して実施しなかったが、こども読書活動応援センターにより、7園の参観、懇談を実施した。
	2023年度	読り一む in ちのによる「朝の絵本の時間」見学会を6園実施した。

柱4	セカンドブックプレゼントの実施（読書推進計画における5段階評価）	未実施	3.75	3.75	3.75	3.75	3.50	4.00
1		4.00	93.75	93.75	93.75	93.75	87.50	100.00

変動要因等		
	2018年度	全小学校1年生にプレゼントを実施した。
	2019年度	全小学校1年生にプレゼントを実施した。
	2020年度	コロナ禍ではあったが、全小学校の1年生にプレゼントを実施することができた。
	2021年度	コロナ禍ではあったが、全小学校の1年生にプレゼントを実施することができた。
	2022年度	各校とも感染予防対策に配慮した会場の設定を工夫し、プレゼントを実施した。感染対策の都合により、親子読みを実施した学校は5校。
	2023年度	各校での手渡し会、親子読みが温かい雰囲気のなかで実施することができた。また、年度末の来入児保護者会で説明の時間をいただき、保護者の理解を進めることができた。

柱4	「朝の絵本の時間」の継続と見学会の実施（読書推進計画における5段階評価）	未実施	3.70	4.00	3.00	3.00	4.00	4.00
2		4.00	92.50	100.00	75.00	75.00	100.00	100.00

変動要因等		
	2018年度	各保育園で、計画通り実施できた。
	2019年度	各保育園で、計画通り実施できた。
	2020年度	コロナ禍により、5園のみで実施。
	2021年度	コロナ禍により、6園のみで実施。
	2022年度	読り一む in ちのによる「朝の絵本の時間」見学会は、コロナ感染予防に配慮して実施しなかったが、こども読書活動応援センターにより、7園の参観、懇談を実施した。
	2023年度	読り一む in ちのによる「朝の絵本の時間」見学会を6園実施した。

柱4	調べ学習コンクールへの参加（読書推進計画における5段階評価）	未実施	3.50	4.00	3.00	3.00	3.00	4.00
3		3.50	100.00	114.29	85.71	85.71	85.71	114.29

変動要因等		
	2018年度	全小中学校・高等学校を対象に実施した。
	2019年度	全小中学校・高等学校を対象に実施した。
	2020年度	全小中学校・高等学校を対象に実施。コロナ禍により、応募作品数は減少。
	2021年度	全小中学校・高等学校を対象に実施。応募数が増加した。
	2022年度	中学校の応募数が大きく増加し、市内全児童生徒の約3割が調べ学習に取り組んだ。
	2023年度	中学校の応募数が大きく増加し、市内全児童生徒の3割以上が調べ学習に取り組んだ。主催者として総務大臣賞を受賞した。

柱5	「朝読書」の継続と朝読書参観の実施（読書推進計画における5段階評価）	未実施	4.00	4.00	3.00	3.50	4.00	4.50
1		4.00	100.00	100.00	75.00	87.50	100.00	112.50

変動要因等		
	2018年度	全小中学校・高等学校に実施おいて実施した。
	2019年度	全小中学校・高等学校に実施おいて実施した。
	2020年度	朝の読書の時間は、全小中・高等学校において定着している。コロナの影響による休校もあり、見学会は十分にできなかった。
	2021年度	朝の読書の時間は、全小中・高等学校において定着している。朝読書参観ができた学校もあった。
	2022年度	朝の読書の時間は、全小中高等学校において定着している。全小中学校の朝読書参観、12校の読書参観日が実施できた。
	2023年度	朝の読書の時間は、全小中高等学校において定着している。全小中学校の朝読書参観、読書参観日が実施できた。

施策等名称	活動の場ごとの施策の推進	体系番号	0201020202
		所管課	生涯学習課

No.	成果指標名	計画策定時	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
		中間目標値	実績値 ／ 達成率(実績値÷目標値)					
柱5	調べ学習コンクールへの参加(読書推進計画における5段階評価)	未実施	3.50	4.00	3.00	3.00	3.00	4.00
2		3.50	100.00	114.29	85.71	85.71	85.71	114.29

変動要因等		
	2018年度	全小中学校・高等学校を対象に実施した。
	2019年度	全小中学校・高等学校を対象に実施した。
	2020年度	全小中学校・高等学校を対象に実施。コロナ禍により、応募作品数は減少。
	2021年度	全小中学校・高等学校を対象に実施。応募数が増加した。
	2022年度	中学校の応募数が大きく増加し、市内全児童生徒の約3割が調べ学習に取り組んだ。
	2023年度	中学校の応募数が大きく増加し、市内全児童生徒の3割以上が調べ学習に取り組んだ。主催者として総務大臣賞を受賞した。

柱6	「朝読書」の継続(読書推進計画における5段階評価)	未実施	4.00	4.00	3.00	3.00	4.00	4.00
1		4.00	100.00	100.00	75.00	75.00	100.00	100.00

変動要因等		
	2018年度	全小中学校・高等学校において実施した。
	2019年度	全小中学校・高等学校において実施した。
	2020年度	全小中学校・高等学校において実施した。
	2021年度	全小中学校・高等学校において実施した。
	2022年度	全小中高等学校において朝読書を継続実施している。高校の朝読書参観は未実施。
	2023年度	全小中高等学校において朝読書を継続実施している。高校の朝読書参観は未実施。

柱6	読書活動をする時間と機会の確保及び読書活動の情報提供(読書推進計画における5段階評価)	未実施	3.00	3.00	2.00	2.00	3.00	3.00
2		3.50	85.71	85.71	57.14	57.14	85.71	85.71

変動要因等		
	2018年度	読書講座(小学校低学年・高学年向け)の実施した。
	2019年度	読書ボランティア交流会にて読書活動に係わる情報を提供した。
	2020年度	高等学校における生徒への貸出冊数が減少した。
	2021年度	コロナ過により、相互交流ができなかった。
	2022年度	高校生による読み聞かせ会を実施。
	2023年度	高校生による読み聞かせ会を実施。

柱7	読み聞かせ講座、絵本講座紙芝居講座、パネルシアター講座の開催(読書推進計画における5段階評価)	未実施	2.00	5.00	2.00	3.00	3.00	3.00
1		4.00	50.00	125.00	50.00	75.00	75.00	75.00

変動要因等		
	2018年度	茅野市図書館にて月一回実施した。
	2019年度	茅野市図書館にて月一回実施した。
	2020年度	コロナの影響により、一部実施ができなかった。年度後半は人数制限を設けて実施した。
	2021年度	コロナの影響により、一部実施ができなかった。
	2022年度	大人向けの読み聞かせ講座を3回実施した。
	2023年度	大人向けの読み聞かせ講座を4回実施した。

柱7	特別おはなし会の企画の充実(読書推進計画における5段階評価)	未実施	3.00	4.00	3.00	3.00	2.00	4.00
2		4.00	75.00	100.00	75.00	75.00	50.00	100.00

変動要因等		
	2018年度	「月夜のおはなし会」「読み聞かせフェスタ」や「民話昔ばなしツアー」を開催・協力をした。
	2019年度	「月夜のおはなし会」年2回開催、こどもまつり・芸術祭へ協力をした。
	2020年度	コロナの影響により、一部実施ができなかった。
	2021年度	コロナの影響により、一部実施ができなかった。
	2022年度	こども読書の日特別おはなし会は、コロナ感染対策により、中止となった。
	2023年度	図書館特別おはなし会を計画どおり実施することができた。また、ボランティアの協力により、こども読書の日特別おはなし会を実施することができた。

柱8	調べ学習コンクールの実施(読書推進計画における5段階評価)	未実施	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00	4.50
1		3.50	114.29	114.29	114.29	114.29	114.29	128.57

変動要因等		
	2018年度	全小中学校・高等学校を対象に実施した。
	2019年度	全小中学校・高等学校を対象に実施した。
	2020年度	全小中学校・高等学校を対象に実施した。
	2021年度	全小中学校・高等学校を対象に実施した。
	2022年度	中学校の応募数が大きく増加し、市内全児童生徒の約3割が調べ学習に取り組んだ。高校の参加は無し。
	2023年度	中学校の応募数が大きく増加し、市内全児童生徒の3割以上が調べ学習に取り組んだ。高校の参加はなかったが、主催者として総務大臣賞を受賞した。

施策等名称	活動の場ごとの施策の推進	体系番号	0
		所管課	0201020202

No.	成果指標名	計画策定時	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
		中間目標値	実績値 ／ 達成率（実績値÷目標値）					
柱8	学校図書館の運営・研修に係る支援・相談（読書推進計画における5段階評価）	未実施	3.00	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00
2		4.50	66.67	88.89	88.89	88.89	88.89	88.89

変動要因等		
	2018年度	学校図書館訪問により実施した。
	2019年度	学校図書館訪問により実施した。
	2020年度	図書館教育について、コロナ禍により、市内小中学校にて訪問研修を実施。
	2021年度	図書館教育について、コロナ禍により、市内小中学校にて訪問研修を実施。
	2022年度	図書館利用指導、出前授業など、各校の要請に応じた訪問研修を実施。
	2023年度	図書館利用指導、出前授業など、各校の要請に応じた訪問研修を実施。

柱8	読書ボランティアの応援及び交流会の実施（読書推進計画における5段階評価）	未実施	4.00	4.00	3.00	3.00	4.00	4.00
3		4.00	100.00	100.00	75.00	75.00	100.00	100.00

変動要因等		
	2018年度	計画通り年2回実施した。
	2019年度	計画通り年2回実施した。
	2020年度	コロナ禍により、年1回のみの実施。
	2021年度	コロナ禍により、年1回のみの実施。
	2022年度	計画通り年2回実施した。
	2023年度	計画通り年2回実施した。

柱9	司書教諭・学校司書などの研修の充実（読書推進計画における5段階評価）	未実施	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00
1		4.50	88.89	88.89	88.89	88.89	88.89	88.89

変動要因等		
	2018年度	司書教諭　年2回、学校司書月1回の研修を実施した。
	2019年度	司書教諭　年2回、学校司書月1回の研修を実施した。
	2020年度	司書教諭　年2回、学校司書研修会は、コロナ禍により、縮小しながらも実施。
	2021年度	司書教諭　年2回、学校司書研修会は、コロナ禍により、縮小しながらも実施。
	2022年度	学校司書研修会は月1回（計10回）市役所にて実施。司書教諭連絡会は、4回（審査委員会含む）実施。情報交換を行った。
	2023年度	学校司書研修会は月1回（計10回）市役所または当番校にて実施。司書教諭連絡会は、4回（審査委員会含む）実施。情報交換を行った。

柱9	読書教育研究指定校の研究、読書教育研修会、中学校区における読書研修会の推進（読書推進計画における5段階評価）	未実施	4.00	4.00	2.00	4.00	4.50	4.50
2		4.50	88.89	88.89	44.44	88.89	100.00	100.00

変動要因等		
	2018年度	計画通り実施した。
	2019年度	計画通り実施した。
	2020年度	コロナの影響により、読書研修会・中学校区の研修会は中止、読書教育研究指定校の研究は実施。
	2021年度	コロナの影響により、読書研修会は中止したが、中学校区の研修会、読書教育研究指定校の研究は実施。
	2022年度	夏の中学校区の読書研修会、読書教育研究指定校（湖東小）の研究共に実施。
	2023年度	夏の中学校区の読書研修会、読書教育研究指定校（東部中）の研究共に実施。

施策等名称	活動の場ごとの施策の推進	体系番号	0201020202
		主管課	生涯学習課

3　評価・改革改善　　（単位：円）

評価	項　目		2018年 （前年度比）		2019年 （前年度比）		2020年 （前年度比）		2021年 （前年度比）		2022年 （前年度比）		2018年～2023年（総括）	
	投資額（2018年～2023年(総括)については2023年の実績を記載）	事業費(円)	8,501,918		8,503,649	1.00	7,479,953	0.88	7,782,959	1.04	9,132,598	1.17	8,563,130	0.94
		うち一財(円)	8,501,918		8,499,449	1.00	7,479,953	0.88	7,781,559	1.04	8,099,518	1.04	8,533,650	1.05
		増減理由（一般財源前年度比±10%以上の場合に記載）					会計年度任用職員の中途退職による人件費の減。		読り一むinちのの20周年記念負担金、調べ学習のナビ印刷費の増。		図書館振興財団からの助成金による、調べ学習コンクール優秀作品集及び学校図書館活用スキルノートの印刷製本費の増。		図書館振興財団からの助成金による、調べ学習コンクール優秀作品集及び学校図書館活用スキルノートの印刷製本費の減。	
	進捗評価		おおむね順調		おおむね順調		やや遅れている		おおむね順調		おおむね順調		おおむね順調	
	総合評価	主な取組内容や成果	それぞれの場で子どもの特性に合わせた読書活動が行われて定着してきている。おはなし会は子どもだけでなく大人の関心も高く、協力的である。		それぞれの場で子どもの特性に合わせた読書活動が行われて定着してきている。おはなし会は子どもだけでなく大人の関心も高く、協力的である。		・園での絵本の読み聞かせや小中高等学校における朝読書の時間は、コロナ禍においても継続実施できたが、ボランティアや各施設での読書推進活動は制限された。 ・第3次計画の前期3年間が終了したため、こども読書活動推進会議において中間検証を行った。		・園での絵本の読み聞かせや小中高等学校における朝読書の時間は、コロナ禍においても継続実施できたが、ボランティアや各施設での読書推進活動は制限された。		（R4・総括評価共通）4月当初に、学校や園を訪問し、朝読書や読み聞かせの実情を確認、共有した。それぞれの場での共通理解を図りながら、コロナ禍でもできること確かめながら、活動を積み重ねてくることができた。また、HPにより取り組み状況を発信し、家庭読書への関心向上に努めている。		・制約がある中でも、各活動の場ごとに工夫をしながら、読み聞かせを毎日欠くことがなく続けてきたことは、読書活動の推進につながった。 ・ファーストブック・セカンドブックプレゼントでは、各場の実情に合わせ、時間や場所、手渡し方、読み聞かせの仕方を工夫しながら、途切れることなく実施し、これらの本を活用した異年齢の読み聞かせ等、活用の広がりもみられる。	
		課題	保育所・小中学校・高校では、日常的に読み聞かせや朝の読書の時間が定着し、職員・教員の研修の成果が出ていて、活動の場ごとに読書教育の取り組みが深まっている。今後の更なる高みへの展開として、読書教育の質の向上として授業への展開の推進や調べ学習・家読の更なる普及を図る。		保育所・小中学校・高校では、日常的に読み聞かせや朝の読書の時間が定着し、職員・教員の研修の成果が出ていて、活動の場ごとに読書教育の取り組みが深まっている。今後の更なる高みへの展開として、読書教育の質の向上として授業への展開の推進や調べ学習・家読の更なる普及を図る。		学校図書館の授業での利活用や家庭読書につながる取組をさらに強化する必要がある。		・学校での授業での利活用について研究的学びにつながるような資料の提供や授業支援を強化する。 ・家庭読書をより定着するよう学校と連携する必要がある。		（R4・総括評価共通） ・読書教育推進事業を通して、学校図書館の利活用についての見識を深め、児童生徒の探究的な学びに繋がる支援に取り組めるよう、各校との連携をより深めていく必要がある。 ・家庭読書への関心に温度差がある。「家庭でも読んでみたい」と思えるアプローチを検討する必要がある。		それぞれの家庭や活動の場において、読書活動は幅広く多様な学びに繋がるものであることを共通理解し、全てのこどもの読書の機会を確保していく取組を進めていくことが大切である。	
改革・改善	改革・改善内容		学校図書館長（校長）の任命、図書館司書の全校配置等により、学校図書館の機能を十分活用できるようになった。更なる高みにもっていくため、司書教諭や学校司書及び学校教職員の資質向上を図る研修や相談体制の充実を図る。		学校図書館長（校長）の任命、図書館司書の全校配置等により、学校図書館の機能を十分活用できるようになった。更なる高みにもっていくため、司書教諭や学校司書及び学校教職員の資質向上を図る研修や相談体制の充実を図る。		・司書教諭や学校司書及び学校教職員の資質向上を図る研修や相談体制の充実を図る。 ・司書教諭・学校司書・担任・読書ボランティアなど多様な主体と連携し、活動の場ごとに、本に接するきっかけと機会の創出を図る。		・司書教諭や学校司書及び学校教職員の資質向上を図る研修や相談体制の充実を図る。 ・司書教諭・学校司書・担任・読書ボランティアなど多様な主体と連携し、活動の場ごとに、本に接するきっかけと機会の創出を図る。		・司書教諭や学校司書だけでなく、児童生徒に関わる全ての教職員の読書活動への理解を深め、将来に繋がる読書活動について研修や相談体制の充実を図る。 ・読書ボランティアや公共図書館など、多様な主体と連携し、活動の場ごとに、全ての子どもの読書の機会を確保する手立てを検討する。		各場における研修を充実させ、研修内容を共有をする。また講座や健診等における絵本や読み聞かせの大切さの啓発、家庭における読書活動の啓発を継続していく。 調べる学習をより推進し、多様なジャンルの読書活動を通して読解力の向上に繋がる取組を進める。 家庭における読書活動の充実につながる取組を引き続き検討し実施していく。	
	施策の柱等の重点化	重点化する施策の柱	2		2		1		1		1			
		重点事務事業	2		2		2		2		8			
		理　由	ファーストブック、セカンドブックプレゼントを切っ掛けに、親子での読み聞かせなど、絵本に親しむ環境づくりをし、小学生の読書活動に連続していくように読書活動推進する。		ファーストブック、セカンドブックプレゼントを切っ掛けに、親子での読み聞かせなど、絵本に親しむ環境づくりをし、家庭での読書環境を整え家庭での読書活動推進する。		ファーストブック、セカンドブックプレゼントを切っ掛けに、親子での読み聞かせなど、絵本に親しむ環境づくりをし、家庭での読書環境を整え家庭での読書活動推進する。		ファーストブック、セカンドブックプレゼントをきっかけに、親子での読み聞かせなど、絵本に親しむ環境づくりをし、家庭での読書環境を整え家庭での読書活動を推進する。		ファーストブック、セカンドブックプレゼントをきっかけに、家庭での読み聞かせなど、絵本に親しむ環境づくりを継続することで、読書環境を整え家庭での読書活動を推進する。また、保小中の読書活動の継続、繋がりを大切に、多様な読書活動の充実を図る。		第4次茅野市こども読書活動推進計画に基づき、「多様な子どもの読解力の向上」「デジタル社会に対応した読書環境の整備」「子どもの主体的な読書活動」に取り組み、子どもと家庭と本をつなぎ、読書の質を高め、生涯にわたって読書に親しむ子どもを育むことを願う施策とし推進する。	

作成担当者	伊藤　研一	河西　茂廣	河西　茂廣	武居　直樹	武居　直樹	武居　直樹
最終評価責任者	平出　信次	北沢　政英	北沢　政英	北沢　政英	上田　佳秋	上田　佳秋
最終評価年月日	2019年5月31日	2020年7月10日	2021年5月28日	2022年5月30日	2023年10月19日	2024年7月12日